

令和7年度事業報告

事業の概要

当財団は、昭和5年（1930年）に故服部金太郎翁により設立されて以来、国家・社会に対する有用な発明発見または研究を成就した者に対する「報公賞」の贈呈および一般学術の特殊な研究または調査の奨励援助、ならびに教育その他の公益事業に対する援助を行ってまいりましたが、昭和41年以後は、

1. 工学に関する優秀な研究成果を挙げた者に対する報公賞（感謝状および賞金）の贈呈
2. 工学に関する研究奨励援助
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業を主要な事業としております。

本年度における事業の概要は次の通りであります。

1. 報公賞の贈呈

当財団ホームページ等による公募の結果、受賞候補として3件の推薦があり、厳正審査の結果、「本年度は該当者なし」との結論となった。

（注記）

いずれの候補者も学術的には大変高い評価であったものの、報公賞の主旨である「工学の進歩への貢献度」の観点で、不足感が否めない点が主な不採択理由。

2. 工学研究奨励援助

当財団ホームページ等による公募の結果、計113件の応募があり、厳正審査の結果、16件の援助を行う事を決定した。また前年度より設定した女性限定公募枠（3名）には、計22名の女性研究者より応募があった。

（別掲 令和7年度工学研究奨励援助金受領者一覧のとおり）

令和7年度工学研究奨励援助金受領者一覧

| 機関名専攻 | 申請者 | 職名 | 研究題目 | 助成金額 |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------|
| 大阪公立大学大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 | おおがき たくや 大垣 拓也 | 特任助 教 | 分子の非対称化による構造の乱れに基づく有 機トリボルミネセンス材料の開発 | 1,000,000 |
| 理化学研究所 量子コンピュータ研究センター | かわかみ えり か 川上 恵里加 | チー ム リ ー ダ ー | 純粋な物理系におけるマイクロ波光子とプラ ズモンの強結合 | 1,000,000 |
| 東京科学大学 物質理工学院 材料系・材料コース | きゅう おんてい CHIU WAN TING | 准教授 | 5M変調マルテンサイト相の組織制御による Ni-Mn-Ga複合材料の磁場誘起変形歪みの拡大 | 1,000,000 |
| 東京農工大学・工学研究院 先端機械システム部門 | くらしな ゆうた 倉科 佑太 | 准教授 | 活性酸素の細胞治療に資する超高密度の集束 型超音波照射装置の開発 | 1,000,000 |
| 名古屋大学 細胞生理学研究センター | さくま こうや 佐久間 航也 | 助教 | タンパク質結晶の成長を制御する | 1,000,000 |
| 電気通信大学 情報理工学研究科機械知能システム学 専攻 | ささき ゆきの 佐々木 章乃 | 博士前 期課程1 年 | ボディエリアネットワーク向けデュアル動作 ウェアラブルアンテナの開発 | 1,000,000 |
| 兵庫県立大学 大学院理学研究科物質科学専攻 | しもがき みお 下垣 実央 | 助教 | 柔軟なキラルジカルボン酸由来アニオン型相 間移動触媒と DABCO を骨格にもつ反応剤を 組み合わせた官能基導入法の開発 | 1,000,000 |
| 山形大学 理工学研究科・機械システム工学専攻 | しゅん りんじゅん 邢 文静 | 助教 | ノズル振動による規則正しい液滴群の分散制 御技術の開発 | 1,000,000 |
| 大阪大学 産業科学研究所 | じんない せいほう 陣内 青萌 | 助教 | 励起子束縛エネルギーの小さい有機半導体の 開発と光化学エネルギー変換機能の追求 | 1,000,000 |
| 大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 | たかはし ほずみ 高橋 秀実 | 助教 | UVパルスレーザーの集光照射による結晶多形 転移の精密制御 | 1,000,000 |
| 京都大学 地球環境学堂 地球親和技术学廊 | たちばな さとる 橋 悟 | 研究員 | イボトビムシが有するラフネス構造における ピンニング効果の検証と工学的応用 | 1,000,000 |
| 九州大学大学院 システム情報科学研究科情報学部門 | だにろ う'あすこんせろす Danilo Vasconcellos う'あるがす Vargas | 准教授 | AIモデルの概念理解、ロバスト性分析、安全 性評価における革新的な近傍ベース手法の開 発 | 1,000,000 |
| 立命館大学 生命科学部 | ながい ゆうき 永井 邑樹 | 助教 | 温度降下に応答して発熱する光蓄熱材料の開 発 | 1,000,000 |
| 東京科学大学・総合研究院 フロンティア材料研究所 | はんざわ こうた 半沢 幸太 | 助教 | 化学結合に着目したペロブスカイト型窒化物 の伝導抑制 | 1,000,000 |
| 立命館大学情報理工学部 | ふじい やすゆき 藤井 康之 | 特任 助教 | 小型水上自律移動ロボットを用いた24時間連 続水圏環境観測のための基盤構築 | 1,000,000 |
| 量子科学技術研究開発機構(QST) 高崎量子技術基盤研究所 | ますやま ゆうた 増山 雄太 | 主任 研究員 | 固体量子センサーの量子特性の高速評価法の 開発 | 1,000,000 |

合計 16件

合計援助額 16,000,000 円

3. 第95回設立記念会

令和7年10月10日（金）午後3時15分より日本工業倶楽部（千代田区丸の内1丁目4番6号）において、第95回設立記念会を開催し、令和7年度の工学研究奨励援助金の贈呈式を行った。

席上、工学研究奨励援助金受領者16名全員の研究題目を紹介し、それぞれ表彰と贈呈を行った。

贈呈式に続き、榊 裕之先生（奈良国立大学機構理事長、服部報公会評議員）による「新たな時代に向けた学びと教育について考える」をテーマとした服部報公会 設立九十五周年特別講演を行った。

続いて日本工業倶楽部3階にあるパーティー会場に場所を移し、記念パーティーが開催された。

尚、贈呈式の模様を録画・編集し、公益財団法人服部報公会のホームページより配信した。

処務の概要

1. 役員・評議員および名誉顧問

(1) 役員

① 異動なし

② 令和7年12月31日現在 理事6名 監事2名

| 役名 | 氏名 | 職業 | 常勤・非常勤の別 |
|------|-------|----------------------------------------|----------|
| 理事長 | 佐藤 知正 | 東京大学名誉教授 | 非常勤 |
| 専務理事 | 萩原 健二 | 事務局長、元セイコータイムクリエーション株式会社代表取締役社長 | 常勤 |
| 理事 | 神谷 武志 | 東京大学名誉教授 | 非常勤 |
| 理事 | 畑中 研一 | 東京大学名誉教授 | 非常勤 |
| 理事 | 西田 豊明 | 福知山公立大学 理事 副学長 | 非常勤 |
| 理事 | 高田十志和 | 広島大学客員教授 大阪公立大学客員教授 東京科学大学名誉教授 | 非常勤 |
| 監事 | 坂田 東一 | 公益社団法人日本ローイング協会会長 一般財団法人日本宇宙フォーラム顧問 | 非常勤 |
| 監事 | 山原 英治 | 弁護士 | 非常勤 |

(2) 評議員

① 異動なし

② 令和7年12月31日現在 評議員 7名

| 役名 | 氏名 | 職業 | 常勤・非常勤の別 |
|-----|-------|----------------------------------------|----------|
| 評議員 | 服部 真二 | セイコーグループ株式会社 代表取締役会長兼グループ CEO 兼 CCO | 非常勤 |
| 評議員 | 高橋 修司 | セイコーグループ株式会社 代表取締役社長 | 非常勤 |
| 評議員 | 榊 裕之 | 奈良国立大学機構理事長 トヨタ学園フェロー 東京大学名誉教授 | 非常勤 |
| 評議員 | 矢部 彰 | 産業技術総合研究所特別顧問 名誉リサーチャー | 非常勤 |
| 評議員 | 竹内 芳美 | 中部大学理事長 大阪大学名誉教授 | 非常勤 |
| 評議員 | 徳田 英幸 | 情報通信研究機構理事長 慶應義塾大学名誉教授 | 非常勤 |
| 評議員 | 中沢 正隆 | 東北大学特別栄誉教授 | 非常勤 |

(3) 名誉顧問

① 異動なし

② 令和7年12月31日現在 名誉顧問 3名

| 役名 | 氏名 | 職業 |
|------|-------|-------------------------------|
| 名誉顧問 | 菅野 卓雄 | 東京大学名誉教授 東洋大学名誉教授 |
| 名誉顧問 | 佐藤 壽芳 | 東京大学名誉教授 |
| 名誉顧問 | 田中 英彦 | 東京大学名誉教授 情報セキュリティ大学院大学名誉教授 |

2. 理事会・評議員会

(1) 理事会 開催回数 4回

- ① 第436理事会 令和7年2月21日
- | | | |
|-------|----------------------|------|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告書及び財務諸表承認の件 | 承認可決 |
| 第2号議案 | 令和6年度に関する定時評議員会招集の件 | 承認可決 |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う審査委員選任の件 | 承認可決 |
| 第4号議案 | 団体役員賠償責任保険制度加入継続の件 | 承認可決 |
- ② 第437回 理事会（みなし開催） 令和7年6月20日
- | | | |
|-------|-------------------------------------|------|
| 第1号議案 | セイコーグループ株式会社 株主総会の議案に対する議決権の行使の件 | 承認可決 |
|-------|-------------------------------------|------|
- ③ 第438回 理事会 令和7年7月28日
- | | | |
|-------|------------------|------|
| 第1号議案 | 令和7年度「報公賞」の件 | 承認可決 |
| 第2号議案 | 令和7年度工学研究奨励援助金の件 | 承認可決 |
| 第3号議案 | 寄付金受け入れについて | 承認可決 |
- ④ 第439回 理事会 令和7年12月8日
- | | | |
|-------|-----------------------------------------|------|
| 第1号議案 | 令和8年度事業計画案の件 | 承認可決 |
| 第2号議案 | 令和8年度収支予算案の件 | 承認可決 |
| 第3号議案 | 公益充実資金規定および特定費用準備金規定 の制定並びに積立計画案承認の件 | 承認可決 |
| 第4号議案 | 評議員会召集の件 | 承認可決 |

(2) 評議員会 開催回数 2回

- ① 第312回 評議員会 令和7年3月14日
- | | | |
|-------|----------------------|------|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告書及び財務諸表承認の件 | 承認可決 |
|-------|----------------------|------|
- ② 第313回 評議員会（みなし開催） 令和7年12月22日
- | | | |
|-------|--------------|------|
| 第1号議案 | 令和8年度事業計画案の件 | 承認可決 |
| 第2号議案 | 令和8年度収支予算案の件 | 承認可決 |

3. 審査委員および審査委員会

(1) 審査委員

① 異動

審査委員8名全員の任期満了にともない令和7年2月21日開催の理事会において、審査委員選任を諮ったところ、全員一致をもって、審査委員に一條秀憲、畑中研一、西田豊明、高田十志和、大崎博之、熊井真次、中野義昭、山中俊治の8名が選任され就任した。

② 令和7年12月31日現在 審査委員 9名（審査委員長含む）

| 役名 | 氏名 | 就任・重任年月日 | 職業（略歴） |
|-------|--------|-------------------------------|-------------------------|
| 審査委員長 | 佐藤 知正 | 令和6年 3月28日就任 | 東京大学名誉教授、 |
| 審査委員 | 一條 秀憲 | 平成26年 5月21日就任 令和7年 2月21日重任 | 東京科学大学特別荣誉教授 |
| 審査委員 | 畑中 研一 | 平成27年 2月25日就任 令和7年 2月21日重任 | 東京大学名誉教授 |
| 審査委員 | 西田 豊明 | 平成30年 2月22日就任 令和7年 2月21日重任 | 福知山公立大学 理事・副学長 |
| 審査委員 | 高田 十志和 | 平成30年 2月22日就任 令和7年 2月21日重任 | 広島大学客員教授 東京科学大学名誉教授 |
| 審査委員 | 大崎 博之 | 令和3年 2月25日就任 令和7年 2月21日重任 | 東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授 |
| 審査委員 | 熊井 真次 | 令和3年 2月25日就任 令和7年 2月21日重任 | 東京科学大学名誉教授 特任教授 |
| 審査委員 | 中野 義昭 | 令和6年 2月20日就任 令和7年 2月21日重任 | 豊田工業大学学長 東京大学名誉教授 |
| 審査委員 | 山中 俊治 | 令和7年 2月21日就任 | 東京大学特別教授 |

(2) 審査委員会 開催回数 2回

① 第1回審査委員会 令和7年6月2日

報公賞の応募件数3件、工学研究奨励援助金応募件数113件について、各審査委員の担当応募研究を決定し、審査を開始した。

② 第2回審査委員会 令和7年7月4日

各応募研究につき厳正審査を経て、令和7年度報公賞については「該当者なし」、また工学研究奨励援助金に受領者一覧表に記載の16件の推薦を決定し、理事に答申することとし審査を完了した。

付属明細書

事業における重要な事項は、令和7年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足すべき重要な事項」はありませんので、付属明細書は作成していません。